



ENERPAC, A Division of Actuant
N86 W12500 Westbrook Crossing
Menomonee Falls, WI 53051 USA
電話 : 011-1(262)293-1500
Fax : 011-1(262)293-7040

データ改定日 2016 年 9 月 30 日

製品安全データシート

第 1 項 - 製品および会社の確認

製品番号 159
CM45885HF104 (ドラム)、HF 102 (ガロン、2 液性パック)、
HF101 (ガロン)、3KD75 (ガロン)、HF100 (クオート)、
3KD76 (クオート)

製品商標名 : Enerpac HF Blue150 ハイドロリック

改定番号 : 2661

作成/改定日 : 2015 年 10 月 20 日

前回の改定日 : 2014 年 05 月 19 日

緊急連絡電話番号 011-1(920)-735-8298

NFPA コード : 健康 : 1 火災 : 1 反応度 : 0

HMIS コード : 健康 : 1 火災 : 1 反応度 : 0

会社情報 その1

輸入者 エナパック株式会社

住所 埼玉県さいたま市北区別所町 8 5-7

製品コード HF100, 101, 102

緊急連絡先 048-662-4911

第 2 項 - 危険物質の確認

GHS 分類 : GHS 分類基準に該当しない

GHS ラベル要素

シンボル : なし
注意喚起語 : なし
危険有害情報 : なし
注意書き 【安全対策】 なし
【応急措置】 なし
【保管】 なし
【廃棄】 なし

最重要危険有害性

有害性 : 現在のところ有用な情報なし

環境影響 : 現在のところ有用な情報なし

物理的及び化学的危険性 : 可燃性があるので火気に注意する

主要な徴候 : 現在のところ有用な情報なし

GHS 分類による上記注意書きに記載がない場合でも、以降の情報を参考に安全対策/応急処置/保管/廃棄に関し十分な配慮を行うこと。

第 3 項－成分

本商品には、OSHA 危険物報告規準(29 CFR 1910 1200)で記載することを定められた、いかなる発癌物質も 0.1%を以上は含有していない。
また、いかなる揮発性有機化合物も含まれていない。

成分	CAS 番号	%	OSHA PEL	ACGIH TLV
水素化処理された重パラフィン系留出液	64742-54-7	45-55	5mg/m ³	5mg/m ³
交換可能な中性油	64742-65-0	45-55	5mg/m ³	5mg/m ³
キシレン	1330-20-7	<1	5mg/m ³	5mg/m ³
エチル系ベンゼン	100-41-4	<1	5mg/m ³	5mg/m ³
亜鉛アルキルジチオ リン酸	4259-15-8	<1	確率して いない	確率して いない
アリアル リン酸	101-02-0	<1	確率して いない	確率して いない
トルエン	108-88-3	<1	確率して いない	確率して いない
フェノール	108-95-2	<1	確率して いない	確率して いない

第 4 項－緊急時の応急手当

皮膚に付着した場合： 石鹼と水で洗浄すること。炎症が発生していたら、医療手当を受けること。
汚染した服は洗濯すること。

目に入った場合： 最低でも 15 分間は水で洗い流すこと。目に炎症が発生、もしくは炎症が持続する場合は、医療手当を受けること。

吸入した場合：呼吸困難な反応が認められた場合は、患者を新鮮な空気に触れる場所に移動させること。

飲み込んだ場合：**嘔吐はさせないこと**。意識があれば、コップ 2 杯の水を飲ませること。直ちに医療手当を受けること。

追加事項：医師への注意事項： 対症的に処置してください。

第 5 項－火災および爆発の危険性

引火点： 204.4°C (400° F)

引火点の上限： 10% (推定値)

引火点の下限： 1% (推定値)

消化媒体： CO₂, 粉末剤、泡、散水、水霧

特別な消化作業：

フルフェイス型マスクの付いた自給式呼吸装置を着用すること。露出している容器を、水霧で冷やすこと。煙を吸わないようにすること。

異常な火災または爆発の場合：

火災または熱にさらされた場合に有毒ガスが発生する可能性がある。また密閉容器が過熱されると内部圧力が上昇する可能性があるため、常に 48.9°C (120° F) 以下で保管すること。

第 6 項－こぼれたり、漏れたりした場合の措置

こぼれた場合：

下水道および排水溝への流出を阻止すること。こぼれた液体は、再利用もしくは廃棄するために回収すること。少量の液体は不活性物質で吸い取ること。

廃棄物処理：

現地および連邦、各州の現行法規に従って廃棄すること。各種の資材は、それを使用したことによって有害廃棄物となる場合がある。もし許可されたなら焼却処分が有効な方法となる。再生利用も考慮するべきである。

第 7 項－取り扱いと保管措置

使用しないときは容器を密閉しておくこと。高温または炎の近くで取り扱ったり保管しないこと。油のミストを吸引しないよう注意して、作業終了後は肌を石鹼と水で良く洗浄すること。

第 8 項－暴露防止および個人保護措置

換気措置： 現場の排気装置を使用して埃が入らないようにする。

手袋による保護： ネオプレンまたはニトリル製の手袋を推奨する。

目の保護： 安全眼鏡の使用を推奨する。

呼吸器官の保護： 通常は不要。ミスト対策にはマスクまたは防毒マスクを使用。

好ましい服装： 必要に応じて洗濯して、繰り返し着用したり長期にわたって着用しないこと。

《急性暴露》

経口毒性： 低位の急性経口毒性。消化器官の炎症や吐き気、嘔吐感を催すことがある。経口摂取または嘔吐の際に肺に吸引してしまうと中度から重度の肺病になったり、最悪の場合は死にいたることもある。

目の激痛： 目への刺激。製品の成分または同等の材料から得たデータによる。

皮膚の激痛： 皮膚への刺激。製品の成分または同等の材料から得たデータによる。資材で濡れた衣服を長期間着用して皮膚に接することにより、皮膚炎を起こす可能性がある。症状には皮膚の発赤、浮腫、乾燥、脱脂、ひび割れが含まれる。

経皮毒性： 製品の成分または同等の材料から得たデータに基づいたラビットの体内中 LD50 は、>2000 mg/kg であった。

吸入毒性： 本製品、もしくはその成分が中毒の危険性を含んでいるデータはない。

呼吸器への刺激：

資材が霧状になったり、過熱により蒸気を発生した場合、鉱油からの現象と同じように粘膜や上気道への刺激が起きる可能性がある。これは製品の成分または同等の材料から得たデータによる。すべての暴露限度が遵守されている良好な工業衛生下では、呼吸器への刺激は問題にはならない。

皮膚の過敏化：

本製品、もしくはその成分が皮膚を過敏にさせるデータはない。

吸入過敏化：

本製品、もしくはその成分が吸入を過敏にさせるデータはない。

《慢性被ばく》

慢性毒性： 本製品、もしくはその成分の 1%以上が慢性的に健康を害する物質であるデータはない。

発がん性： 本製品、もしくはその成分の 0.1%以上が発癌性物質であることを示すデータはない。

変異原性： 本製品、もしくはその成分の 0.1%以上が変異原性または遺伝毒性物質であることを示すデータはない。

繁殖毒性： 本製品、もしくはその成分の 0.1%以上が繁殖毒性を起こすことを示すデータはない。

催奇形性： 本製品、もしくはその成分の 0.1%以上が先天性異常を起こすことを示すデータはない。

《追記情報》

その他： その他の健康への被害は認知されていない。

暴露限度：成分の暴露限度については第 3 項を参照のこと。

第 9 項－物理的データ

蒸気圧力： 20°Cで 0.01 mm Hg 未満。

PH： 本質的に中性

比重： 0.85

ポンド／ガロン： 7.11

水溶性： 不溶

揮発パーセント： 30°C(100°F) の条件下で、容器開口後 4 時間で無視できる。

蒸気密度： 1 以上 (空気=1)

蒸発率： 0.01 未満 (1ATM かつ 25°C。酢酸正ブチル=1)

臭気： 石油に似た臭気が少しある。

外観： 青色の粘性液体
粘度： 40°Cで 30-34 cSt

第 10 項－安定性

安定性： 安定している。

非適合性： 酸化剤および 酸性物質

重合： 発生しない。

熱分解： 煙、一酸化炭素、アルデヒド、その他の不完全燃焼物。硫化水素および短鎖アルキルメルカプタンも放出される可能性あり。燃焼条件下では、以下の元素の酸化物が形成される。リン、硫黄、亜鉛。

第 11 項－毒物学的情報

目：

偶然目に入った場合でも、一時的な刺激または赤目以上の症状を起こすことは、ほとんどない。

皮膚：

短時間または一時的な接触ならば、皮膚に影響を及ぼすことはほとんどありえない。しかし長期の接触または暴露は、皮膚炎を引き起こす可能性がある。

経口摂取：

偶然に少量を飲んだだけなら、危害はほとんどないと思える。大量に飲んだ場合は、嘔吐や下痢をもよおす可能性がある。

吸入：

通常的环境温度下では、本製品の揮発性によって吸入による危害はほとんど有り得ない。

蒸気、霧、または煙霧に暴露することで、目、鼻、喉を痛める可能性があります。

第 12 項－環境への影響に関する情報

移動性：

地面に漏出した場合、土壤に浸透して地下水を汚染する可能性がある。

残留性および分解性：

本製品は、本質的に生分解性である。

生体蓄積性：

生体蓄積が発生することを示す証拠は存在しない。

水性毒性：

水に漏出した場合、水面にフィルムが形成され、有機体系に物理的な悪影響を及ぼす恐れがある。酸素移動も環境を害する可能性がある。

第 13 項－廃棄に関する注意

廃棄は、米国連邦法、各州の法律、および各地域の規制を遵守して行なうこと。各種の資材は、それを使用したことによって有害廃棄物となる場合がある。もし許可されたなら焼却処分が有効な方法となる。再生利用も考慮すべきである。

第 14 項－輸送

輸送中の事故に関する情報。 輸送中の事故による漏洩に関する詳細情報は、危険物の事故に関する運輸省発行の最新の緊急時対応ガイドブックを参照してください。

米国運輸省危険物輸送説明書 提出不要

国連分類 : 国連の定義による危険物に該当しない。
国連番号 : 国連の定義による危険物に該当しない。

国内規制
陸上輸送
容器

: 容器には圧力をかけないこと。圧力をかけると破裂することがある。
容器は溶接・加熱・穴あけまたは切断しないこと。爆発を伴って残留物が発火することがある。

容器表示 : 品名、数量、および「火気厳禁」の表示をすること。

積載方法 : 容器が著しく摩擦または動揺を起こさないように運搬する。指定数量以上の可燃性液体類を車輛で運搬する場合は、市町村条例に定めるところにより、当該車輛に標識を掲げる。またこの場合、当該危険物に該当する消火設備を備える。運搬時の積み重ね高さは 4 m 以下とする。第一類及び第六類の危険物及び高压ガスと混載しない。

道路法 : 道路法における危険物に該当しない。

海上輸送 : 船舶安全法における危険物に該当しない。

航空輸送 : 航空法における危険物に該当しない。

輸送の特定の安産対策及び条件

: 輸送前に容器の破損、腐食、漏れのないことを確かめる。転倒、落下、損傷のないように積み込み、荷崩れ防止を確実に行う。

容器が著しく摩擦又は動揺を起こさないように運搬する。該当法規に従い、包装、容器、表示、輸送を行う。本製品は、引火性液体なので、「火気厳禁」。

第 15 項－規制情報

本製品は危険物として指定されていない。

EC 指示事項 91/155/EG の履行に関しては各地域の法令に従ってください。

SARA 極度危険物質 本製品には、SARA の極度危険物質リストに記載されている、どの化学物質も

1.0%以下しか含まれていない。

SARA 第 313 条 0.3%-0.5%の亜鉛化合物が含まれている。

0.002%のエチルベンゼンが含まれている。
0.008%のキシレンが含まれている。

SARA 311 分類

慢性的危険	有
重大な危険	有
火災危険	無
反応危険	無

有害物質規制条例（TSCA）状況

本製品に使用されている材料は、EPA/TSCA の化学物質一覧表に記載されている。

適用法令

消防法 : 引火性液体第4石油類
化学物質管理促進法 : 非該当
労働安全衛生法 : 通知対象物質
毒物・劇物取締法 : 非該当
廃棄物の処理及び清掃に関する法律 : 産業廃棄物

水質汚濁防止法 : 油分排出規制
海洋汚染防止法 : 油分排出規制
下水道法 : 鉱油類排出規制
道路法 : 危険物に該当しない。
船舶安全法、危険物船舶運送及び貯蔵規制 : 危険物に該当しない。
航空法 : 危険物に該当しない。

第 16 項－その他の情報

労働安全衛生法（OSHA）で要求されているラベルに関する情報： 危険物および知る権利に従って、輸送時に添付されるラベルや船荷証券、または送り状の該当箇所には OSHA 危険物注意が記載されています。

本書に記載された情報は、信頼できる情報源から収集したものであり、売主の知り得る限り、正確かつ最善のものである。しかしながら、売主は本データの表現や適用および市販性に関する正確度、並びに本製品を使用した結果に関して、いかなる保証も行なわない。売主は、買主もしくは第三者への傷害およびすべての不動産損害に関して責任を負わないものとする。それらのリスクは、すべて買主の責任となる。